

大妻女子大学
総合情報センター
年報 2013年第6号



総合情報センター年報 第6号 目次

刊行に寄せて	大妻女子大学 学長 荻上 紘一	2
	総合情報センター 所長 栗原 裕	3
	家政学部 ライフデザイン学科 市川 博	4
	社会情報学部 社会情報学科 情報デザイン専攻 松本 直樹	5
2013年度	総合情報センター業務報告	6
	図書館グループ業務報告	10
	メディア教育開発グループ業務報告	20
2013年度	総合情報センター組織	27
	大妻女子大学総合情報センター規程	28
	大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程	29
	総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ沿革	30
	総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧	32

「コピー & ペースト」今昔

大妻女子大学
学長 荻上 紘一

昨今は、コピー&ペーストが蔓延している。パソコンの基本的な機能の1つである「コピー&ペースト」は実に便利であり、私自身も日常的に利用しているが、「諸刃の剣」であり、何かと話題になることが多い。「学生にレポートを課すと、インターネットを駆使して集めた情報をコピー&ペーストしてくる」、「それならまだ良い方で、中には友達のリポートをコピーしてくる者もいる」などは日常茶飯事であるが、「ノーベル賞級かと言われた論文で、他の論文からのコピー&ペーストが行われていた」と世間を騒がせたことも記憶に新しい。

人間が知的活動をする際には、幾つかの基本的な能力が必要である。何処にどのような情報があるかを「検索」し、取捨選択して必要なものを収集し活用する能力、情報を「記憶」(または記録)しておき必要な時に必要なものを取り出して活用する能力、必要な情報を駆使して「思考」を重ねることにより新たな知見を創出する能力などである。昔は、「検索」は目、耳及び手と足で行い、「記憶」(または記録)は脳細胞または紙が担当したものである。コンピューターが登場してからは、「検索」と「記憶」はコンピューターが得意とする能力となったが、「思考」は依然として人間固有の能力である。

私はこれまでに、情報関係の大きな節目を3回経験している。1つ目は、コピー機の出現である。私が学生の頃は、コピー機が発明されたばかりで、パソコンやインターネットなどは存在しなかった。湿式コピーで、現在の感覚からすれば、とても「読める」といえる水準ではなかったが、文献の複写は手で書き写すしか方法がなかった当時にとっては、画期的な新兵器の登場であった。程なく、乾式で「読める」水準のコピー機が登場し、コピー文化が急速に普及した。先輩達からは「君達は楽が出来ていいなあ。我々は必要な文献は手で書き写したものだよ」といわれた。先輩達は、必要な文献は、図書館等で読むことにより理解して記憶に留めてしまうか、その場で理解することが難しいものは手で書き写して、後で読み返したという。手で書き写せば、当然のことながら、読みながら、考えながら、ということになるだろう。コピー機が出現してからは、必要と思われる文献や面白そうな資料があれば、取り敢えずコピーしておいて、「後で読もう」ということになった。私自身に関しては、「後で読もう」と思ってコピーした論文や資料の中で、実際に「読んだ」ものの比率は決して高くないことを白状する。しかし、これは私だけのことでなく、コピー機の出現により、誰しもの、興味のあるようなものは取り敢えずコピーして手元におく、という行動をとるようになった。私の研究室もコピーした文献のファイルがどんどん増えていった。結果として、紙の消費量が激増したことはいうまでもない。

2つ目の節目は、パソコンの登場である。それまで手書きかタイプライターを用いて行われていた文書作成が、ワード・プロセッサの出現により一変した。今日では当たり前と思われている日本語入力機能による仮名から漢字への変換に加えて、「コピー&ペースト」や「カット&ペースト」などの編集機能により、文章作成作業は劇的に変化した。この変化は、漢字は「読めるが書けない」という副作用をもたらした。

3つ目の節目は、インターネットの普及である。居ながらにして世界中にある情報を検索し、必要なものを簡単に入手することが出来、それらを自由自在にコピー&ペーストすることにより、「立派な」レポートや論文を作成することが出来る。昔は、図書館などに足を運ばなければ得られなかった情報が、現在はパソコンの前に座っていて簡単に入手出来る。図書館などで得られる情報が全てインターネットで手に入るとはいえないかも知れないが、インターネット経由で得られる情報の量は膨大である。しかも、インターネット経由で得られる情報をコピー&ペーストして活用する方が、図書館に足を運んで書物等から情報を引用するより遥かに簡単である。しかし、コピー&ペーストが簡単にできることの副作用は、「思考」の大半が省略されてしまうことではないだろうか。

人間が「考える葦」から「コピーする葦」に変化しないことを願うのみである。

私立大学図書館協会東地区部会に出席して

総合情報センター
所長 栗原 裕

今年も私立大学図書館協会東地区部会(成蹊大学、6月14日)に参加した。加盟校530を超える大学が東西の両地区に分かれ、それぞれの地区が例年6月中旬に部会を開催している。部会総会、館長会、研究講演会という構成で、図書館職員と手分けして出席するのが恒例である。

午前の部会総会では、旧年度の事業報告と決算報告、新年度の事業計画と予算編成、新年度の役員校、研究委員会等各種委員会委員、これらの承認があり、午後の研究講演会には、1)高野真理子氏(特定非営利活動法人大学図書館支援機構副理事長)「これからの大学図書館のための研修事業」2)植村八潮氏(専修大学文学部教授)「大学図書館における電子書籍提供サービスの課題と展望」の2本の講演と関連質疑応答があった。こちらには栗原欠席、職員長島が出席した。

真中に館長会というのが例年計画されていて、本年は「図書館における学生支援と利用者教育」が懇談のテーマであった(因みに去年は「学術雑誌の価格高騰問題と予算編成について」)。部会長校明治大学の図書館長が司会、出席者70名。談論が停滞しないように手配怠りなく、あらかじめ数大学に報告依頼がなされていて、各大学の現況報告があると、それに関連して発言が誘発されるという進行であった。

立正大学、酪農学園大学、明治学院大学、相模女子大学、創価大学などの現況、それに関連して発言したいくつかの大学の現況が知れて興味深かった。端的に言うと、ラーニングコモンズに話が集中した。新設したばかり(立正)、横浜キャンパス改装に際して作る(明治学院)、設置の必要を認識している(酪農学園)などは今後の展開であるが、新図書館開館1年半の立教大学からは期待以上の盛況であることが報告され、創価大学からは新築の青梅校舎に350席の図書館管轄外(したがって図書なし)のラーニングコモンズなる自習室を設けたら大盛況、正規図書館1Fに100席(3ブース)のこれを設置し、BGMを流し、大学院生TA1名を配したら、昨年度900回、4600人の利用者があったという報告である。

それ以外の興味をそそられた報告に、学生を書店に同伴し目の前で選書してもらったところ、それらの図書の貸出頻度が他を圧倒している(相模女子)とか、“Ask Me”という名札を付けた上級生やレポート執筆指導のWriting Advisorを配している(清泉女子)とかがあり、すぐに真似できて効果も見込まれると思いつつ聞いた。

ひるがえって、われわれの図書館のラーニングコモンズは2010年に設置されていて、先進グループに属している。広さはせいぜい20-30の可動席、全体で1ブースといった趣きであるから、それなりの統制のとれた利用を期待しなければならない。個人利用OK、少人数の数グループが相互に差し支えないなら同時利用OK、少し組織的に利用するには予約を入れて借り切りにしなければならない。目下のところ、これらの制約を承知で利用してもらえない状態である。

他方で、月1度開かれるイベントは小規模ながら(だからこそ)上品な知的寛ぎの場を提供している。この話をしたら、同じテーブルの3人の館長たちは眼を輝やかしてくれた。催しの宣伝のポスターやブックカバーや葉のデザインも素人ばなれしていて注目に値いすると思う。いつぞや、東北大学附属図書館のライブレリアンの方が出張のついでにたまたま立ち寄られ、この催しのポスターに接していただく惹きつけられたというのも故なしとしない。「スペシャルな靴選び」の催しはその翌日の企画で、あいにく参加できなかったのを残念がっていられた。このことは前にも書いたが、この方は大学図書館界では指導的立場にあり、大変著名であることを後に知った。

それはそれとして、他大学の図書館の責任者の人たちとの懇談に加わってみて、本学の総合情報センターの図書館とメディア教育開発の両部門が大学正課の授業とさらに一層の連携を展開できたらいいと思った。後方支援のサービス部門であるセンターの側としては、いつでも応じられる態勢を整え、教育の実際を担当する先生方の側からの誘いを待ち構えることにしよう。

デジタル社会に暮らす

家政学部 ライフデザイン学科
市川 博

18世紀から19世紀にかけての産業革命では蒸気機関が産業の変革と、社会構造の変化をもたらした。さらに19世紀から20世紀の第2次産業革命では、電気の発明により、多くの製品や社会システムが電気という技術で統一されていった。家庭では釜戸の火で米を炊き、ランプの火で光をともしていたのが、電気炊飯器、電球という電気で動く道具に取って代わった。20世紀後半から情報化社会というキーワードが、様々なフィールドで聞かれるようになり、21世紀に入ると本格的にインターネットが家庭に普及してきた。情報化社会、インターネット社会の本質は、アナログ情報のデジタル化であるといえる。デジタル社会とは全ての情報を0、1に標準化する社会である。もちろん、人間はデジタルである0と1では情報を判読することはできない。大量で高速なデジタル情報を、瞬時に人間が理解できるアナログ情報に変換する技術がデジタル社会を支えている。

家庭でデジタル化を実感した出来事は、音楽レコードがCDに取って代わったことである。1982年に発売されたCDは、瞬く間に普及した。従来のレコードはごく一部のマニアのものとなった。その後は、デジタルカメラ、通信、携帯電話、テレビ、ビデオなどアナログ情報を扱っていた道具は、瞬く間にデジタル化されていった。デジタル化により、複製が簡単になり、情報の流通コストも驚くほど安価になった。この利便性を支えているのは、もちろんインターネットである。

インターネットの普及は、私たちの日常生活にも多くの影響を与えている。昨年2013年には、選挙にインターネット等の利用が解禁され、いわゆるネット選挙元年となった。ネット選挙で大きく変化したのは有権者がネット上で選挙運動をすることが可能となったことである。その結果に対しては、様々な捉え方があるがネット選挙の目的の一つである「候補者の情報発信の容易さ」はWebにより達成されたと言える。しかし、それによる負の側面も数多く指摘されている。ネット選挙においては支持候補に有利な情報のみが共有され、対立候補に有利な情報は排除される。コミュニティの中で敵と判断された場合は極端な攻撃言動が起こる。選挙期間中にネット上で激しい誹謗中傷合戦が起こったケースもあり、敵対候補に対してデマやネガティブキャンペーンを行ったケースも報告されている。

インターネットは、コンテンツの制作、編集、配信を一握りの巨大メディアの支配から、一般大衆に解放した。情報発信のハードルを限りなく低くし、インターネット上のサービスの一つであるソーシャルメディアが、若者達を中心として爆発的に普及している。ソーシャルメディアの利用は、ネット選挙と同様、情報発信の容易さやコミュニティの形成、連携の強化などの利点がある反面、ネット上でのいじめ、個人情報の漏洩、個人攻撃やフレーミングなど、多くの負の側面も指摘されている。若者の反社会的な行為が、ソーシャルメディアを通して自らの手で発信され、読者からの批判を受けた企業が店舗の閉鎖に追い込まれた例や、在籍する大学が謝罪するなど、社会問題となったのは記憶に新しい。インターネットはオープンであることを特徴として発展してきた。しかし、ネットショップやネットバンキングなど、個人と企業とのクローズな仕組みに利用されてきている。ここに大きな危険があり、ウイルスや詐欺などのネット犯罪の温床となっている。また、自らの反社会的行為を発信する若者は、オープンであるはずのインターネットをクローズなものとして認知していると考えられる。大学はもちろん、初等中等教育段階から情報モラル、ネットマナーなどの教育の必要性が叫ばれている。

話はかわるが、数年前に図書館サービスに関するアンケートを大学生に対して実施した。アンケートは図書館資料に関するもの(コレクションアクセスの確保)、場としての図書館、サービスの姿勢(個人・組織)を基本的な枠組みとして設定した。その結果、図書館への満足度に最も影響のある要因は、個人のサービスの姿勢である職員の親切な対応であることがわかった。コレクション(情報)の充実度より、人とのFace to Faceのコミュニケーションが重要であると言う結果に安心した。デジタル化された情報が氾濫する中、Face to Faceのコミュニケーションをより大切にしていきたい。

学術雑誌の流通と研究者

社会情報学部 社会情報学科
情報デザイン専攻 松本 直樹

大学での研究において、学術雑誌は切っても切れない存在である。特に海外の学術雑誌は関心のある学問分野の世界的潮流を知るうえで重要である。ある同僚の先生と話をしている中で、研究をしていく上で必要な海外の学術雑誌の記事をどのように入手しているか、という話になった。そのとき、その先生は、本学の図書館で入手できない場合、非常勤で勤務している大学の図書館で文献をコピーしているとのことだった。

本学のように、多様な研究領域の教員がいて、しかも教育機能が重視されている大学では、必要とされる記事の全てを図書館が提供するの難しい。したがって、上で見たような事態が生じるのはある程度やむを得ない。

しかし近年においては、研究機能を重視する大学においても、学術雑誌の入手環境が悪化しているという。2014年4月17日付けの朝日新聞に「大学、図書リストラ海外誌値上がり、円安追い打ち電子版残し「紙」削減」という記事が掲載されていた。記事では慶應義塾大学と東京大学が学術雑誌の高騰で苦労している様子が紹介されている。慶應義塾大学では、電子版と紙版の両方を購読している場合、紙版を取りやめることが増えているという。東京大学では、電子版購入費を抑制するために購読タイトル数の削減を検討したが、その場合、一挙に利用可能なタイトル数が減少してしまうため、実施できないことが紹介されている。

東京大学の事例は記事だけを読んでも分かりにくいだが、これは、「ビッグディール契約」によるものと思われる。この契約方式は、商業出版社から一定数の学術雑誌を購読する場合、図書館が追加的に一定額を支払うことで、商業出版社が保有するすべての電子ジャーナルを利用できるようにするという方式である。タイトル数を絞った場合、そうした形での利用ができなくなるため、利用可能タイトル数が一挙に減ってしまうわけである。記事では入手環境悪化の背景として、学術雑誌自体の値上がり、円安による支払い増が挙げられている。

こうした中、政府もこの問題に取り組みは始めている。今年から文部科学省の研究振興局に「ジャーナル問題に関する検討会」が設置され、(1)ジャーナル流通の現状、課題及び対応策、(2)オープンアクセスへの対応、が検討課題に挙げられている。そこでの配付資料によれば、学術雑誌の寡占化、高騰等の問題は、日本に限らず世界共通の課題であり、G8科学技術大臣・アカデミー会長会合においても議題として取り上げられているという。

さて、私の研究領域である図書館情報学に関連する学術雑誌へのアクセス状況を確認してみよう。ここでは、比較的評価の高い以下の学術雑誌について調べてみた。①Library and Information Science Research、②The Library Quarterly、③Library Trendsである。①は2011年度より多摩校の図書館で購入されている。したがって、紙版のものを見ることができる。検索は図書館が契約しているEBSCOhostででき、抄録も確認できるが、本文を見ることはできない。電子ジャーナルはScience Directという世界最大規模のデータベースから提供されているが、一つの記事につき30ドルかかる。②の紙版は大妻女子大学に所蔵していない。図書館が契約しているJSTOREを通じて過去のものを利用できるが、最近の記事は10ドルで購入することになる。③は2000年までは紙版のものが購入されていたが、現在は購入されていない。本文を見るには、Johns Hopkins University Pressのサイトに行き、20ドル支払わなければならない。②と③はEBSCOhostで検索でき、抄録も見ることができるが、本文を見ることはできない。

調べていて気づいたのだが、記事の入手ルートは極めて複雑で、多様化している。大学図書館は電子ジャーナルの契約や、その提供に苦労をしていると思うが「電子ジャーナル難民」としてウェブ上をさまよう教員の救出もまた、新たな課題となりそうである。

2013年度 総合情報センター業務報告

1. 総合情報センター運営委員会

- 1) 平成25年度 第1回総合情報センター運営委員会 (文書協議)
- 2) 平成25年度 第2回総合情報センター運営委員会 (平成25年6月1日 於:千代田校)
- 3) 平成25年度 第3回総合情報センター運営委員会 (文書協議)

平成25年度 第1回総合情報センター運営委員会は、「大妻女子大学総合情報センター規程」及び「大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程」の一部改正について、4月11日(木)から4月22日(月)に文書回覧で審議され、了承された。

第2回総合情報センター運営委員会は、平成25年6月1日(土)に開催され、平成25年度事業計画予算採択結果^{※1}について報告がなされた。また、各グループの平成24年度業務報告、決算報告^{※2}、平成25年度業務計画、予算案^{※3}、及び「大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程」並びに「大妻女子大学図書館資料の収集及び管理に関する規程」の一部改正について審議を行い、了承された。

第3回総合情報センター運営委員会は、平成26年度事業計画予算申請(案)^{※4}について9月20日(金)から9月26日(木)に文書回覧で審議され、了承された。

※1 平成25年度事業計画予算採択結果

整理番号	件名	備考
K-1	千代田校 A 棟視聴覚教室設置 WL マイク設備更新 (消耗品・備品)	
K-2	多摩校 視聴覚教室設置 PC 更新及び増設	
K-3	千代田校 A 棟 視聴覚教室 Web カメラ設置	
K-4	全学教育系情報システム 年間保守 ①情報処理関連 3 教室 (C271,370,373) ②ファイルサーバ ③AD サーバ	次年度以降 経常費
K-5	多摩校 社会情報学部 情報処理関係教室 保守	次年度以降 経常費
K-6	多摩校 比較文化学部 情報処理関係教室 保守	次年度以降 経常費
K-7	多摩校 図書館棟 情報処理自習室 保守	次年度以降 経常費
K-8	図書館 入退館管理システム リプレイス	
K-9	図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	

平成25年度事業計画予算申請においては図書館グループからの要望4件のうち、2件について執行が承認された。千代田校図書館入退館管理システムリプレイスは、5月の連休にリプレイス施工済みのものであり、従来の退館側BDSはE棟8階文系共同図書室に移設した。

図書館所蔵貴重資料のデジタル化は、平成22年度からの継続事業であり、夏季休業期間中に実施した。

ラーニングコモンズにおけるネットワーク環境の保守経費については、平成25年度事業計画により経常費(学院扱い)増額となった。

メディア教育開発グループについては、要望した7件すべての執行が承認された。千代田校A棟視聴覚教室ワイヤレスマイク設備更新、多摩校視聴覚教室設置パソコンの更新及び増設、千代田校A棟視聴覚教室Webカメラ設置の3件については、夏季休業期間中に工事が実施された。

全学教育系情報システム年間保守、多摩校社会情報学部情報処理関係教室保守、多摩校比較文化学部情報処理関係教室保守、多摩校図書館棟情報処理自習室保守の4件については、平成24年度に申請が認められ工事を行ったものに関する保守となっており、これらは平成25年度の保守経費となる。

また、千代田校B棟232情報処理教室施設設備更新・ソフト更新については、平成26年4月の稼働開始に合わせるために、平成24年度に前倒して申請を行い、平成26年2月・3月に前倒して工事を行った。

2013年度 総合情報センター業務報告

◆事前着手の承認[平成26年度事業計画にて要再申請]

件名	備考
千代田校 B 棟 232 情報処理教室施設設備更新・ソフト更新	【平成 26 年度事業計画】の前倒し 施設・設備更新→平成 26 年 2・3 月着手 ソフト更新→平成 26 年 2・3 月着手

◆「経常費」(扱い)の増・減

件名	備考
ラーニングcommons ネットワーク環境 保守費	平成 24 年度事業計画により平成 25 年度から経常費増額

◆平成25年度予算での執行が承認されなかった項目

件名	備考
多摩校 図書館メディアルームの整備	
図書館所蔵 リポジトリ用コンテンツ資料のデジタル化	

※2 平成24年度 決算報告

単位:円

	図書館	メディア教育開発グループ			決算	予算
		千代田校	多摩校	狭山台校		
機器・備品費	464,205	1,453,137	985,123	0	2,902,465	5,700,000
消耗品費	2,069,114	5,634,417	2,316,975	404,574	10,425,080	8,060,000
修繕費	99,960	48,930	55,230	0	204,120	1,400,000
雑費	369,920	96,324	25,461	11,085	502,790	980,000
ソフト費	0	1,516,646	188,537	0	1,705,183	1,240,000
通信費	798,432	30,514	29,079	29,123	887,148	990,000
印刷・製本費	1,439,396	444,587	140,000	0	2,023,983	2,350,000
HP作成費	0	0	0	0	0	400,000
予算戻り分	0	▲ 570,609	0	0	▲ 570,609	▲ 800,000
合計	5,241,027	8,653,946	3,740,405	444,782	18,080,160	20,320,000
		12,839,133				



2013年度 総合情報センター業務報告

※3 平成25年度 予算案

単位:円

	図書館	メディア教育開発グループ			予算額合計
		千代田校	多摩校	狭山台校	
機器・備品費	500,000	3,400,000	1,000,000	300,000	5,200,000
消耗品費	2,200,000	3,570,000	2,400,000	400,000	8,570,000
修繕費	100,000	800,000	300,000	200,000	1,400,000
雑費	400,000	200,000	150,000	30,000	780,000
ソフト費	0	700,000	500,000	30,000	1,230,000
通信費	800,000	100,000	50,000	40,000	990,000
印刷・製本費	1,800,000	400,000	150,000	0	2,350,000
HP維持・管理費	100,000	150,000	150,000	0	400,000
予算戻り分	0	▲ 600,000	0	0	▲ 600,000
合計	5,900,000	8,720,000	4,700,000	1,000,000	20,320,000
		14,420,000			

平成25年度決算報告

単位:円

	図書館	メディア教育開発グループ			決算	予算
		千代田校	多摩校	狭山台校		
機器・備品費	609,070	1,943,025	1,283,038	0	3,835,133	5,200,000
消耗品費	2,176,639	5,024,406	2,965,320	233,824	10,400,189	8,570,000
修繕費	59,850	71,558	0	0	131,408	1,400,000
雑費	268,584	525,979	62,980	7,560	865,103	780,000
ソフト費	0	863,835	271,929	0	1,135,764	1,230,000
通信費	772,651	30,461	29,051	29,232	861,395	990,000
印刷・製本費	1,718,116	276,150	0	0	1,994,266	2,350,000
HP維持・管理費	98,280	0	0	0	98,280	400,000
委託費	0	336,000	0	0	336,000	0
予算戻り分	0	▲ 433,046	0	0	▲ 433,046	▲ 600,000
合計	5,703,190	8,638,368	4,612,318	270,616	19,224,492	20,320,000
		13,521,302				

注)平成25年度の決算は、平成26年6月7日(土)に開催された総合情報センター運営委員会で承認された。



2013年度 総合情報センター業務報告

※4 平成26年度事業計画予算申請

平成26年度事業計画予算申請として、図書館グループは5件、メディア教育開発グループは4件の申請を行った。なお、申請した9件については、平成26年度事業計画予算として全て承認された。

【図書館グループ】

順位	件名	備考
1	千代田校・多摩校 図書館システム機器更新及び整備	
2	多摩校 図書館メディアルームの機器更新及び整備	
3	図書館所蔵大妻良馬先生、大妻コタカ先生著書他、資料のデジタル化	リポジトリ用コンテンツとして
4	図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	平成 22 年度からの連続事業
5	文献情報管理ツール「RefWorks」の導入	

【メディア教育開発グループ】

順位	件名	備考
1	千代田校 大学校舎 B 棟 232 情報処理教室施設・設備更新	平成 25 年度前倒し着手承認済み (平成 26 年 2・3 月工事实施)
2	千代田校 大学校舎 A 棟及び C 棟増設視聴覚関連教室 Web カメラ設置	
3	千代田校 大学校舎 D 棟 スタジオ (517) ーゼミ室 (518) 新設に伴う Web カメラ設置及び遠隔操作対応	
4	コタカネットリプレイスのタイミングに合わせた 既存校舎視聴覚関連教室に於ける仮想ネットワークの構築	

2. 総合情報センター年報 第 5 号(2012 年度)e-Book(電子書籍)形式にて発行

3. 総合情報センターホームページ維持・管理

URL < <http://www.cemit.otsuma.ac.jp/> >を参照のこと。

4. 大妻女子大学学術情報リポジトリの作成と公開の継続



図書館グループ業務報告

業務記録 (2013/4/1 ~ 2014/3/31)

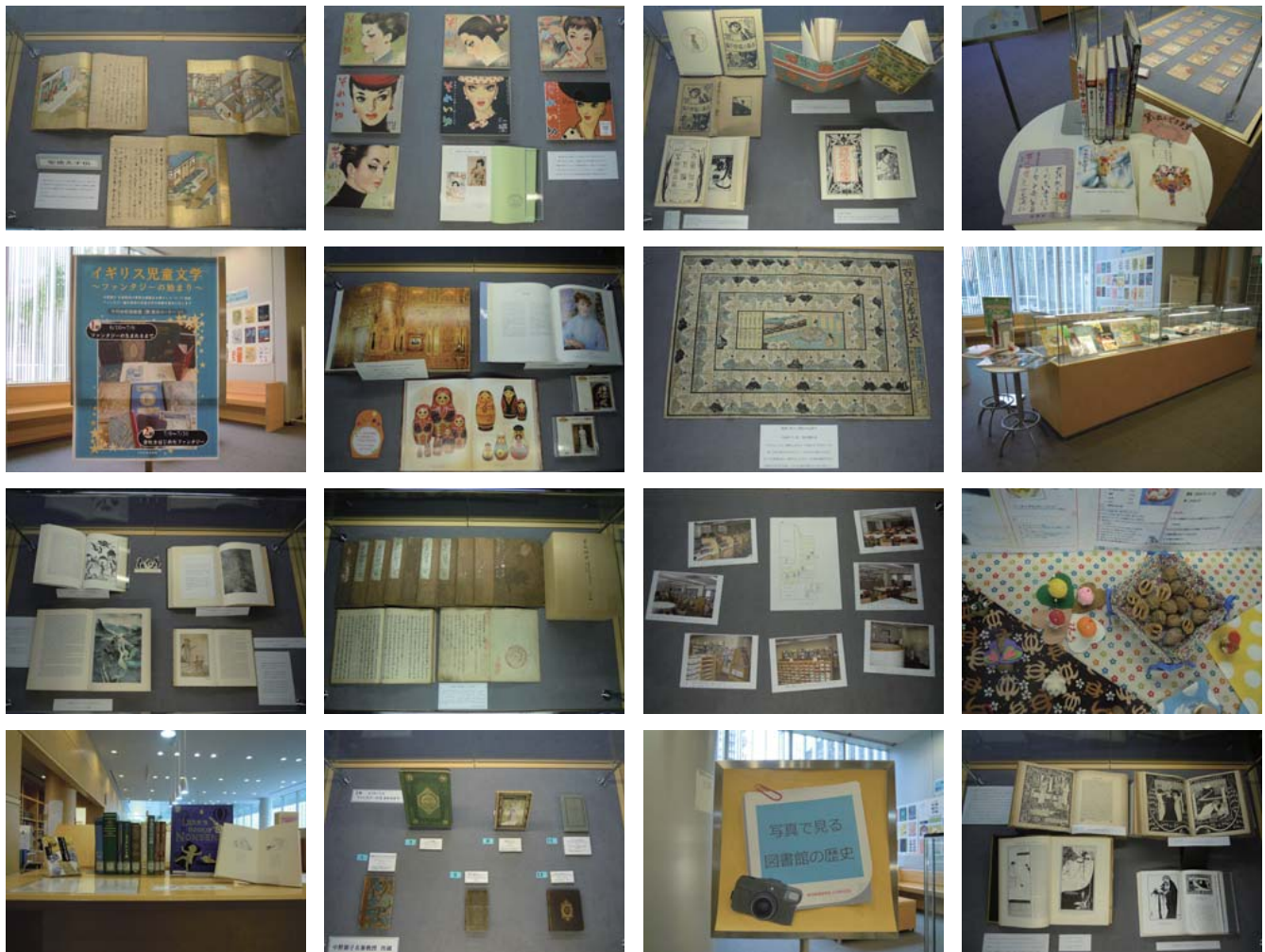
日付	業務	キャンパス
4/8	大妻女子大学学術情報リポジトリ本公開	全館
4/11 ~ 4/26	見学ツアー、MyOPAC 説明会	全館
5/7 ~ 5/24	データベース検索入門講座	千代田・多摩
6/1	第1回総合情報センター運営委員会	千代田
6/16	オープンキャンパス	千代田
6/23	オープンキャンパス	多摩
7/1	第1回家政系図書委員会(陪席)	千代田
7/15 ~ 9/20	夏休み貸出	全館
7/21	オープンキャンパス	千代田
7/28	オープンキャンパス	多摩
8/3 ~ 8/4	オープンキャンパス	千代田
8/11	オープンキャンパス	多摩
8/14	日本放送協会のNHKスペシャル「従軍作家たちの戦争」にて図書館所蔵資料が紹介される	千代田
9/1	開架スペースのリニューアル	千代田
9/8	オープンキャンパス	多摩
10/6	オープンキャンパス	千代田
10/7 ~ 11/9	読書週間特別企画「1人10冊まで貸出!」キャンペーン	全館
10/19	日本文学科・国文科主催「貴重書・新収図書資料展」へ資料貸出	千代田
10/23	個人ブースの学生向けサービス開始	千代田
10/27	オープンキャンパス	多摩
11/19	第5回文系図書委員会(陪席)	千代田
11/19 ~ 11/21	大妻女子大学国文学会・千代田区立図書館連携事業「『曾我物語』にみる印刷技術の発展」へ資料貸出	千代田
12/7	オープンキャンパス	千代田
12/7 ~ 1/17	冬休み貸出	全館
12/14	グループ学習コーナーの新設	狭山台
12/17	第6回文系図書委員会(陪席)	千代田
1/20 ~ 4/11	春休み貸出	全館
1/21	第7回文系図書委員会(陪席)	千代田
3/29	学科説明会	千代田
2011年度~	NHK サービスセンター主催「宮沢賢治・詩と絵の宇宙」展へ資料貸出(返却予定:平成26年9月)	千代田



図書館グループ業務報告

千代田校展示記録 (2013/4/1 ~ 2014/3/31)

日付	展示テーマ
4/1 ~ 4/23	大妻についての本
4/27 ~ 5/31	美しい人 ~ 中原淳一生誕 100 年
6/3 ~ 7/19	「雨の日に読みたい本」 POP 応募作品展
6/10 ~ 7/31	イギリス児童文学 ~ ファンタジーの始まり ~
6/16	オープンキャンパス貴重書展示
7/21	オープンキャンパス貴重書展示
8/3 ~ 8/4	オープンキャンパス貴重書展示
8/7 ~ 9/20	世紀末美術とアール・ヌーヴォー
8/20 ~ 8/21	軍記文学関連古典籍展観
9/27 ~ 10/5	食の大切さを伝えるために
10/6	オープンキャンパス貴重書展示
10/10 ~ 11/9	「もう一度読みたい本、何度も読みたくなる本」 POP 応募作品展
10/14 ~ 11/30	Fairy Tales
12/5 ~ 12/26	写真で見る図書館の歴史 新図書館棟移転 10 周年記念
1/7 ~ 1/31	お正月を楽しもう
2/6 ~ 2/28	ソチオリンピックだからロシア



図書館グループ業務報告 統計

1. 図書所蔵数 2014.3.31 現在 (単位:冊)

	千代田	狭山台	多摩	合計
和書	151,337	82,647	102,176	336,160
洋書	39,587	19,410	24,881	83,878
合計	190,924	102,057	127,057	420,038

※雑誌製本を除く

2. 配置別図書受入数 (単位:冊)

	図書						製本雑誌		合計
	和書	洋書	消耗		千鳥会	計	和	洋	
			和書	洋書					
千代田	2,385(80)	311(1)	467(0)	0	441	3,604(81)	348	233	4,185
狭山台	140(16)	9(0)	116(0)	0	84	349(16)	0	0	349
多摩	2,074(28)	69(0)	409(0)	0	364	2,916(28)	205	183	3,304
合計	4,599(124)	389(1)	992(0)	0	889	6,869(125)	553	416	7,838

※()内は寄贈図書受入数には寄贈数を含む

3. 分類別図書受入数 (単位:冊)

	和書				洋書				合計
	千代田	狭山台	多摩	計	千代田	狭山台	多摩	計	
0. 総記	179	5	97	281	1	2	11	14	295
1. 哲学・心理学	105	13	190	308	0	0	10	10	318
2. 歴史・地理	229	26	273	528	41	3	18	62	590
3. 社会科学	669	68	834	1,571	37	1	6	44	1,615
4. 自然科学	165	23	241	429	4	1	2	7	436
5. 工学	177	41	121	339	5	0	0	5	344
6. 産業	91	7	81	179	12	0	1	13	192
7. 芸術・体育	169	12	135	316	3	0	0	3	319
8. 言語	218	11	84	313	94	0	8	102	415
9. 文学	839	74	276	1,189	114	2	13	129	1,318
その他	452	60	515	1,027	0	0	0	0	1,027
合計	3,293	340	2,847	6,480	311	9	69	389	6,869

平成 25 年度の新取図書を日本十進分類法 (NDC) によって分類したものである。
前年度に比べ各学科の予算が減額になったため、全体的に受入数が減っている。

4. 図書受入数の推移 (単位:冊)

		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
和書	千代田	2,598	3,495	3,196	3,688	3,293
	狭山台	823	796	701	458	340
	多摩	3,105	3,626	3,195	3,313	2,847
	計	6,526	7,917	7,092	7,459	6,480
洋書	千代田	421	398	453	752	311
	狭山台	7	6	5	11	9
	多摩	206	203	93	31	69
	計	634	606	551	794	389
合計		7,160	8,523	7,643	8,253	6,869

平成 24 年度に比べ、受入数が 1,000 冊以上減少している。図書予算減額とともに、
高額資料の購入が多かったことも影響していると思われる。なお、受入数には寄贈図書も含む。

※雑誌製本を除く

5. 視聴覚資料所蔵数

	視聴覚資料
千代田	2,394
狭山台	915
多摩	3,646
合計	6,955

2014.3.31 現在
(単位:点)



6. 視聴覚資料受入数

(単位:点)

	CD	ビデオテープ	DVD	合計
千代田	163	0	126	289
狭山台	3	0	31	34
多摩	17	12	54	83
合計	183	12	211	406

コミュニケーション文化学科、比較文化学部予算での CD、DVD の購入が多かった。狭山台校では、大妻教養講座関連 DVD の他に学生向け DVD17 点を購入した。

7. その他資料受入数

(単位:点)

	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	CD-ROM	DVD-ROM	合計
千代田	0	6	25	13	44
狭山台	0	0	0	0	0
多摩	0	0	3	1	4
合計	0	6	28	14	48

8. 所蔵逐次刊行物タイトル数 2014.3.31 現在 (単位:種)

	千代田	狭山台	多摩	タイトル合計
和雑誌	3,466	1,088	1,340	5,009
洋雑誌	729	491	436	1,485
合計	4,195	1,579	1,776	6,494

9. 分類別継続購入逐次刊行物タイトル数

2014.3.31 現在 (単位:種)

	和雑誌				洋雑誌				タイトル合計
	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	
0. 総記	88	28	60	117	32	3	18	41	158
1. 哲学・心理学	5	2	14	16	9	1	14	21	37
2. 歴史・地理	10	1	15	21	9	0	16	24	45
3. 社会科学	103	24	89	175	45	0	48	85	260
4. 自然科学	38	3	23	54	36	0	12	45	99
5. 工学	55	16	29	82	12	1	6	18	100
6. 産業	7	4	9	16	4	0	1	5	21
7. 芸術・体育	33	5	15	42	6	0	5	11	53
8. 言語	13	6	10	18	61	0	5	62	80
9. 文学	61	16	26	67	57	0	7	62	129
合計	413	105	290	608	271	5	132	374	982

※タイトル数およびタイトル合計は重複を除く

図書館グループ業務報告 統計

10. 契約電子ジャーナル・データベース

契約電子ジャーナル
Science Direct
JSTOR
EBSCOhost/Academic Search Elite
日経 BP 記事検索サービス

契約データベース	
新聞記事等	聞蔵Ⅱビジュアル
	毎日 News パック
	ヨミダス歴史館
	日経テレコン 21
	Library PressDisplay
	ProQuest Times / Sunday Times
	TLS historical archive
	JJJI-Web
雑誌論文等	大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 Web 版
	雑誌記事索引集成データベース
	JapanKnowledge+NRK
	近代作家原稿集：滝田栲陰旧蔵
	科学技術文献速報・化学・化学工業編（国内編）
	医中誌 Web
	Westlaw Japan(日本法データベース)
	Literature Online
	MLA International Bibliography
	Literature Resource Center
	ProQuest Dissertations & Theses(人文社会系)
	Marquis Biographies Online
	Books in Print with Book Reviews
	CSA linguistics and language behavior abstracts

11. 図書費決算報告

2014.3.31 現在 (単位：円)

		予算額	執行額	残 額
家 政 系	被 服 学 科	2,611,750	2,072,091	539,659
	食 物 学 科	2,611,750	2,535,288	76,462
	児 童 学 科	2,611,750	2,607,786	3,964
	ラ イ フ デ ザ イ ン 学 科	2,611,750	2,608,740	3,010
	短 大 家 政 科	2,534,000	2,044,811	489,189
文 系	日 本 文 学 科・国 文 科	16,586,000	16,583,842	2,158
	英 文 学 科・英 文 科	14,085,000	14,083,610	1,390
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 文 化 学 科	7,340,000	7,335,253	4,747
文 系・家 政 系 共 通		8,507,000	8,504,382	2,618
多 摩	社 会 情 報 学 部	6,596,800	6,506,436	90,364
	人 間 関 係 学 科	3,238,600	3,236,842	1,758
	人 間 福 祉 学 科	1,987,200	1,889,980	97,220
	比 較 文 化 学 部	8,740,900	8,725,804	15,096
	共 通	6,152,500	6,150,230	2,270
附 置 研		400,000	390,893	9,107
図 書 館		7,863,170	7,858,399	4,771
合 計		94,478,170	93,134,387	1,343,783

※博物館：77,650 円、キャリア教育センター：154,300 円、教職総合支援センター：154,300 円、国際センター：291,920 円は図書館に含む

12. 高額資料一覧

形態	書名	数量	金額(税込)	配置
和書	ほうぶつしう	3冊セット	5,500,000	千代田
データベース	日経テレコン21	フリー	1,885,680	
和書	女房三十六歌仙かるた	1組	1,260,000	千代田
データベース	Academic Search Elite	フリー	943,900	
データベース	聞蔵II ビジュアル	2アクセス	902,016	
データベース	医中誌 Web	3アクセス	901,623	千代田・多摩
データベース	Japan Knowledge Lib	2アクセス	673,920	
データベース	日経 BP 記事検索サービス大学版	フリー	648,000	
データベース	MLA International Bibliography	1アクセス	605,000	
データベース	ProQuest Dissertations & Theses(人文社会系)	フリー	528,000	千代田
データベース	ヨミダス歴史館	1アクセス	466,560	
マイクロフィッシュ	新女苑	1セット	450,450	千代田
データベース	Library Press Display	3アクセス	435,010	
和書	本邦キリシタン布教関係資料プティジャン版集成	24冊セット	425,250	文系図書室
データベース	雑誌記事索引集成データベース	5アクセス	388,800	
データベース	Times Literary Supplement Historical Archive	フリー	361,969	
電子ジャーナル	Proceedings of the National Academy of Sciences	フリー	351,321	
データベース	JJI Web	1アクセス	311,040	
合 計			17,038,539	

30万円以上で購入した資料を掲載した。円安の影響もあり、英文学科で契約していたデータベース2点の購入を中止した。

13. 開館日数

(単位:日)

< 開館時間 >

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
千代田	280	277	286	287	285
狭山台	262	257	266	268	265
多摩	280	276	279	283	283

千代田・多摩: 平日:9:00 ~ 19:00 土:17:00
狭山台: 平日:9:00 ~ 17:50 土:15:00

但し夏季、冬季休業期間及び臨時休業など授業のない日の開館時間

千代田・多摩: 平日:9:00 ~ 17:00 土:15:00
狭山台: 平日:9:00 ~ 17:00 土:13:30

14. 入館者数

(単位:人)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
千代田	59,656	59,980	52,685	46,286
狭山台	21,152	19,238	19,041	16,863
多摩	53,625	50,850	50,167	52,766

千代田校の入館者が減った原因は、本館E棟が完成して、そちらで時間を過ごす学生も多かったのではと推察される。

15. 学部別館外貸出人数

(単位:人)

家政学部	文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	短期大学部	大学院
3,274	5,059	1,896	3,138	3,002	895	348

16. 貸出冊数推移

	年度	冊数	人数
千代田	2009年度	17,222	9,602
	2010年度	18,337	10,252
	2011年度	19,540	10,596
	2012年度	17,065	9,234
	2013年度	16,281	8,813
狭山台	2009年度	4,682	2,710
	2010年度	7,604	4,286
	2011年度	5,301	3,125
	2012年度	4,822	2,902
	2013年度	3,714	2,160
多摩	2009年度	13,951	7,346
	2010年度	16,020	8,470
	2011年度	15,598	8,332
	2012年度	16,780	8,516
	2013年度	17,646	8,891

千代田校の貸出の減少は、本館E棟の完成、文系共同図書室の移設により、入館者が減ったことが影響していると思われる。授業課題や、授業の1コマを図書館の利用案内に充てるなどの方法で、教員との連携を深め、利用を促進するよう働きかけたい。

17. 逐次刊行物利用統計

所 属		冊 数	人 数
家政学部	被服	138	26
	食物	100	57
	児童	33	14
	ライフデザイン	32	20
文学部	日文	1,152	620
	英文	54	16
	ｺﾞﾝ文	122	53
多 摩		15	11
短 大	家政	4	2
	国文	29	10
	英文	3	2
大 学 院	人間生活	12	7
	言語文化	230	95
	現代社会	2	1
	臨床心理	4	2
教職員		312	130
その他		155	64
小 計		2,397	1,130

所 属		冊 数	人 数
社会情報学部		23	11
人間関係学部		156	64
比較文化学部		74	47
千代田		0	0
大 学 院	人間生活	1	1
	言語文化	0	0
	現代社会	2	2
	臨床心理	45	16
教職員		143	56
その他		11	6
小 計		455	203
合 計		2,852	1,333

※バックナンバーのみ
 ※狭山台校は開架のため統計実施せず
 ※その他には中高・非常勤含む

千代田校では雑誌の利用はここ数年微増していたが、平成 25 年度は激減した。特に日文系の利用者数の減少が目立った。
 多摩校では、利用者、冊数ともに前年度より減少した。論文記事が検索できるデータベースに PDF 本文がある論文のみ利用している学生が多くみられる。

18. 視聴覚資料利用点数

(単位 : 点)

	ビデオテープ	CD	DVD	LD	音声テープ	合 計
千 代 田	17	20	618	0	0	655
狭 山 台	11	7	174	16	0	208
多 摩	26	40	1,114	0	0	1,180

※所蔵・持込合計

千代田校ではビデオテープ、DVD の持ち込み数が前年度よりも多く、授業とも連動して利用されていることが伺える。

狭山台校では、後期に DVD を視聴する授業課題が出されたことと、前年度図書貸出ランキング上位作品を原作とする DVD を購入したことで利用者が増えた。

多摩校では、平成 25 年度は「共通費」の予算で学生向け教養用 DVD より図書を多く購入したため、新規 DVD の購入点数が少なかった。そのためか、利用者数が 3 割程度減少した。

19. 学外相互協力

(単位 : 件)

		2011年度			2012年度			2013年度		
		紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借
千代田	依頼	11	108	4	12	97	8	15	91	4
	受付	19	63	0	21	66	0	23	65	0
狭山台	依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受付	0	0	0	0	1	0	0	0	0
多 摩	依頼	9	106	6	5	201	7	9	238	7
	受付	3	2	0	3	24	0	1	10	0
合 計	依頼	20	214	10	17	298	15	24	329	11
	受付	22	65	0	24	91	0	24	75	0

千代田校では平成 25 年度は、貴重図書の閲覧願、文献複写依頼が、例年に比べ目立った。
 (天理大学、関西大学等)

※謝絶を含む

POP 募集 応募作品(千代田)

第1回 「雨の日に読みたい本」

6月3日～6月29日



第2回 「もう一度読みたい本、何度も読みたくなる本」

10月10日～10月31日



図書館グループ業務報告 ラーニング コモンズ・イベント (千代田)

	日時	タイトル	講師
第1回	4月27日(土)	「見る」「語る」そして「読む」スポーツ	キャリア教育センター 井上俊也 教授
第2回	5月18日(土)	古美術蒐集と茶人 ～ 素人コレクターのお宝紹介～	人間関係学部長 町田章一 教授
第3回	6月8日(土)	天上大風～室町の尺八・東北の古典～	文学部英文学科 村上丘 教授
第4回	7月13日(土)	インド世界の魅力	家政学部児童学科長 金田卓也 教授 金田サラソティール 氏
第5回	9月28日(土)	食の大切さを伝えるために～食生活と食育～	短期大学部家政科 堀口美恵子 准教授
第6回	10月19日(土)	見えそうで見えない ---- 画像の隔靴搔痒	文学部英文学科 坂口明德 教授
第7回	11月22日(金)	俳句生活の楽しみ ～ 季語を生きる、季語を生かす	短期大学部国文科 安藤恭子 教授
第8回	12月14日(土)	<「ロシア」ってどんな国!?!> ～ 多民族国家の「マトリョーシカ」～	文学部コミュニケーション文化学科長 森岡修一 教授

第1回

「見る」「語る」
そして「読む」
スポーツ

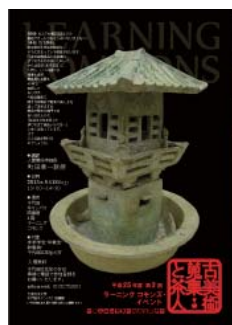
井上俊也 教授



第2回

古美術蒐集と茶人
- 素人コレクターの
お宝紹介 -

町田章一 教授



第3回

天上大風
- 室町の尺八・東北の古典 -

村上丘 教授



図書館グループ業務報告 ラーニング コモンズ・イベント (千代田)

第4回

インド世界の魅力

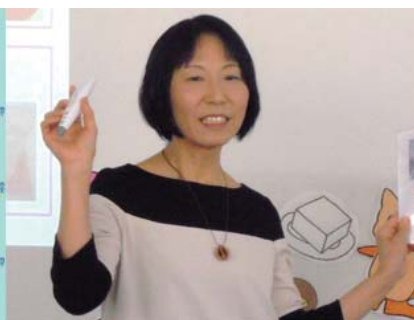
金田卓也 教授
金田サラソティー氏



第5回

食の大切さを伝えるために
- 食生活と食育 -

堀口美恵子 准教授



第6回

見えそうで見えない
- 画像の隔靴搔痒 -

坂口明德 教授



第7回

俳句生活の楽しみ
- 季語を生きる、季語を生かす -

安藤恭子 教授



第8回

<「ロシア」って
どんな国!>
- 多民族国家の
「マトリョーシカ」 -

森岡修一 教授



メディア教育開発グループ業務報告

メディア教育開発グループでは、3キャンパスの語学関係教室(CALL・LL)、視聴覚教室、情報処理実習室、情報処理自習室や授業用情報システムの維持・管理・運用を担当し、それらの施設・設備を利用して行われる授業や学生の主体的学習が効率的、効果的に行われるよう支援を行った。

学内システムのうち、教育用情報システムについてはメディア教育開発グループが担当しており、そのために必要なネットワークの維持・管理・運用を行った。視聴覚機器やパソコン、ネットワークなどに関する教員・学生からの問い合わせ(学生指導含む)については、ヘルプデスク業務として対応した。

また、教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化を行っており、具体的には、ビデオ収録・編集、PC再生用のオーディオ・ビデオデータの制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化・データ変換などを行った。印刷関係ではカラーコピー・拡大印刷などを中心に作成を行った。

1. 授業支援

1) 情報処理・語学関係実習室における授業への支援

《千代田校・多摩校・狭山台校共通》

- ・統合認証システム(ADサーバ)の設計、維持管理、運用
- ・ファイルサーバの設計、維持管理、運用(学生用・教員用ホームフォルダ、Publicフォルダ設定等)
- ・情報処理関連教室施設、設備の設計、維持管理、運用
- ・プリンタ履歴システムの設計、維持管理、運用
- ・情報処理教室等利用アカウントの発行、管理
- ・教員貸出用大妻Webメールアドレス管理
- ・教員、職員、学生等への情報処理関連教室施設・設備に関する取扱説明

《千代田校、狭山台校情報処理教室》

- ・情報処理関係科目(教養教育)担当授業補助員のリクルート及び労務管理
- ・情報処理教室、情報処理自習室ホームページ(教室利用の手引き)更新
- ・授業補佐

《多摩校情報処理関係教室(社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部)関係》

- ・実習室用ホームページ更新
- ・教師用「実習室利用の手引き」作成
- ・コンピュータシステム運営委員会(社会情報学部)

[教室使用状況]

千代田校		前期	後期
情報処理教室	前期 3 教室、後期より 5 教室	48 時限 / 週	39 時限 / 週
CALL 教室	前期 1 教室、後期より 3 教室	12 時限 / 週	13 時限 / 週
多摩校		前期	後期
情報処理実習室	4 教室	62 時限 / 週	63 時限 / 週
情報処理・LL 教室	5 教室	58 時限 / 週	55 時限 / 週
LL 教室	1 教室	14 時限 / 週	12 時限 / 週
PC 兼用教室	1 教室	13 時限 / 週	15 時限 / 週
理科実験室	1 教室	7 時限 / 週	4 時限 / 週
狭山台校		前期	後期
情報処理教室	1 教室	12 時限 / 週	11 時限 / 週
CALL 教室	1 教室	11 時限 / 週	12 時限 / 週

(上記時限以外に不定時の利用による授業支援あり)

2) 視聴覚教室における授業への支援

- ・視聴覚教室施設、設備の設計、維持管理、運用
- ・教員、職員、学生へ視聴覚教室施設・設備に関する取扱説明

3) 遠隔授業等に関する支援

- ・FD講演会 平成25年7月19日 多摩校(7114教室)→千代田校(A155教室)
- ・教員採用試験第3次特別講座 平成25年11月2日 多摩校(7114教室)→千代田校(A155教室)

4) 普通教室、実験・実習室における授業への支援

- ・視聴覚機器の貸出し・操作説明等

5) スタジオ(千代田校D517教室)を利用する授業、研究の支援

- ・スタジオ設備の設計、維持管理、運用
- ・スタジオ利用授業の機器操作指導(教員・TA)、及び機器貸出し

2. ヘルプデスク

- 1) パソコン及びプリンタ等の設定及び不具合対応
- 2) ネットワーク関連機器接続の設定及び不具合対応
- 3) アプリケーションに関する導入支援、操作説明等
- 4) ウィルス対策(ソフトウェア導入支援・操作説明、ウィルス駆除等)
- 5) メール全般に関する支援(送受信、転送設定等)
- 6) 視聴覚教室等におけるパソコン接続(出力設定、ネットワーク接続等)に関する操作説明
- 7) 視聴覚教室等におけるAV機器(操作卓等)の操作説明
- 8) 学習支援システム(LMS)「manaba」の操作に関する支援、教員向け説明会の実施支援

3. 授業以外への機器貸出し・操作説明など

- 1) 学内・学外団体関係(学会・講演会、講習会他)
- 2) 事務局関係(入学式、卒業式、オープンキャンパス、地域貢献イベント、各種ガイダンス、入試関係、学園祭等)

4. 情報処理自習室の維持・管理及び学生指導

千代田校	情報処理自習室 (本館 E 棟地下 1 階) PC 席数 : 80 席	
	期 間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日 月 ~ 土
	時 間	前期授業期間 月 ~ 土 9:00 ~ 18:00 後期授業期間 月 ~ 金 9:00 ~ 19:00 土 9:00 ~ 18:00 夏・冬・春期休業期間 月 ~ 金 9:00 ~ 17:00 土 閉室
	利用者数	延べ 41,107 名
	パソコンコーナー (本館 E 棟 3 階・5 階) PC 席数 : 24 席 (3 階 : 12 席、5 階 : 12 席)	
	期 間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日 月 ~ 土
	利用者数	延べ 12,147 名 (3 階 : 6,513 名、5 階 : 5,634 名)
多摩校	情報処理自習室 (図書館棟 2 階) PC 席数 : 60 席	
	期 間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日 (授業実施期間のみ) 月 ~ 金
	時 間	通常 9:00 ~ 16:10
	利用者数	延べ 26,286 名

※ 情報処理自習室の他に関係教室を授業で使用していない時間は、自習用として開放している。
 多摩校:比較棟3225,3230教室、社情棟6215,6218,6254,6256,6312,6313,6315教室、人間棟7217,7237教室
 狭山台校:2号館451,456教室



メディア教育開発グループ業務報告

5. 視聴覚及び情報処理関係施設、設備の維持管理、運用

1) 管理施設

	千代田校	多摩校	狭山台校
視聴覚教室 (AV 機器設置教室)	56 教室	56 教室	16 教室
情報処理関係教室	5 教室	10 教室	1 教室
CALL / LL 関係教室	3 教室	1 教室	1 教室
大学院生室 (PC のみ)	1 室		
大学院ミーティング室 (PC のみ)	1 室		
教職実践演習室 (AV・PC のみ)	1 室		
理科実験室 (PC のみ)		1 教室	
スタジオ	1 室		
情報処理自習室	1 室	1 室	
パソコンコーナー (本館 E 棟 3 階・5 階)	2 箇所		



2) 保守関係

千代田校	視聴覚関係教室 (東和エンジニアリング) 3 回 / 年 情報処理教室、CALL 教室、情報処理自習室 (内田洋行) 2 回 / 年
多摩校	視聴覚関係教室 (東和エンジニアリング) 2 回 / 年 情報処理関係教室 (内田洋行) 2 回 / 年 情報処理自習室 (大塚商会) 2 回 / 年
狭山台校	視聴覚関係教室 (東和エンジニアリング) 2 回 / 年 情報処理教室、CALL 教室 (内田洋行) 2 回 / 年

3) 工事関係

千代田校: 千代田校舎 A 棟視聴覚教室設置WLマイク設置更新(消耗品・備品)

千代田校 A 棟視聴覚教室 Webカメラ設置

多摩校: AV 設備更新(人間棟 2 教室)

視聴覚教室設置 PC 更新及び増設(12 台)

4) 千代田校新校舎建築関係

・別館 J 棟 2 階の施設、設備の設計

課外学習室フロア(5 教室)

6. 教材制作

1) 教材制作内容

種 別	内 容
録画、録音関係	撮影、録音、編集、整音、再生メディアの作成、等
静止画撮影関係	撮影、画像の補正・修正、メディア作成、等
PC 関係	PC 再生用のオーディオデータ・映像データの制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化、データ変換・メディア変換・マークカード処理・オリジナル提示教材の制作、等
印刷関係	カラーコピー、拡大印刷、等

2) 教材制作の技術的支援

・教材を作成するソフト、機器等の導入支援、操作説明等

・教材提示方法の相談、支援

メディア教育開発グループ業務報告

3)各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数

	千代田校	多摩校	狭山台校
音声関係	220本	—	5本
映像関係	456本	18本	58本
PC関係※	1,788点	—	—
印刷関係 (うち拡大印刷)	2,113枚 (296枚)	75枚 (75枚)	—

※ 紙原稿、スライドのデジタルデータ化、等

7. 情報戦略会議委員会関係

(情報戦略専門委員会、情報環境基盤専門委員会、情報セキュリティ専門委員会含む)
情報戦略会議委員会及び合同・各専門委員会出席

8. 私立大学情報教育協会(私情協)関係

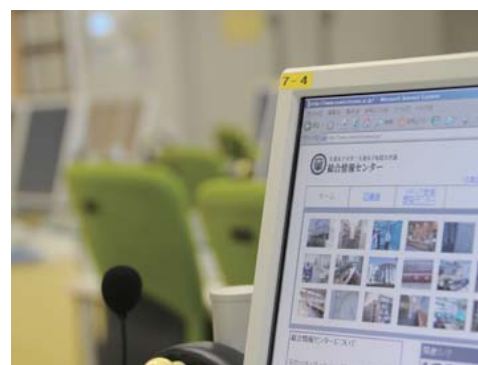
- 1)会議及び研修会等案内の学内配布及び参加申込受付
- 2)通常総会及び臨時総会出席
- 3)アンケート調査等回答
- 4)機関誌学内配布
- 5)その他

9. 補助金及び各種調査への対応

- 1)平成24年度私立大学等経常費補助金に係る対象事業の実施状況等調査(日本私立大学振興・共済事業団)
- 2)平成24年度私立大学等経常費補助金に係る実績額等の確定報告(日本私立大学振興・共済事業団)
- 3)平成25年度学術情報基盤実態調査(文部科学省)
- 4)平成25年度私立大学等経常費補助金の交付申請に係る資料の提出(日本私立大学振興・共済事業団)
- 5)平成25年度学校法人の経営改善方策に関するアンケート(日本私立大学振興・共済事業団)
- 6)大学等における学生支援の取組状況に関する調査[平成25年度](日本学生支援機構)
- 7)平成25年度東京都私立短期大学実態調査(東京都私立短期大学協会)
- 8)平成26年度私立大学高度情報化補助金活用調査(私立大学情報教育協会)
- 9)私立大学情報化投資額調査(私立大学情報教育協会)
- 10)平成25年度私立大学教員の授業改善調査(私立大学情報教育協会)
- 11)情報セキュリティ対策の自己点検・評価(私立大学情報教育協会)

10. 地域貢献イベントへの協力

- 1)日英学術文化交流150周年記念事業パイプオルガンコンサート
(打合せ、渉外、舞台進行、進行台本確認、記録撮影など)
- 2)大妻さくらフェスティバル2014
(打合せ、渉外、舞台進行、進行台本確認、記録撮影など)



11. その他

- 1)平成25年度入学式関係業務(舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、スライド映写、記録撮影など)
- 2)平成25年度卒業式関係業務(舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など)
- 3)オープンキャンパスサポート(千代田校)
- 4)入学試験関係(一般入試、大学入試センター試験)
- 5)定期試験関係業務(試験監督)(狭山台校)
- 6)平成25年度学園祭関係業務(打合せ、事前点検、機器貸出し、操作説明、事後点検など)
- 7)千代田校本館への移転に伴う業務(千代田校)
- 8)各種研修会などへの参加(外国語教育メディア学会、他)

メディア教育開発グループ業務報告 補完教育

メディア教育開発センターでは、正課外の「補完教育」として、すべてのキャンパスにおいて「課外英語力強化プログラム」と「課外パソコン講習」を実施・運営している。これらの講座は、本学学生に対して資格取得やスキル向上の機会を提供することを目的として開講されている。

1. 課外英語力強化プログラム

本講座は、学生が正課授業の履修状況に合わせて、毎日1コマ(40分)、週5日(月~金:年間100回)のスケジュールを各自で作成して受講するプログラムで、毎回の講座以外にも自由に講師と会話ができるEC(English Challenge)の時間が用意されている。講座内容は、インタラクティブな活動を中心としたグループレッスン(グループ当たり最大12名)で構成されている。

平成25年度の担当講師は、アメリカ、イギリス、カナダの出身者で、英語を母語としない人への英語教授資格(TESOL、TEFL、CELTA等)の有資格者である。また、講座内では、年2回(前期、後期各1回)TOEIC IPテストを実施している。TOEIC IPテストの受験については、各自の英語力を確認することを目的としており、なるべく多くの学生が受験し、その後の学習の参考とすることができるよう、講座開始と共に日程を決め受験者を募集している。このため、通常の講座とは別に、前述したECの時間を使って試験の傾向や対策を扱う講座も実施している。

1) 実施要領等

		千代田校	多摩校	狭山台校
■ 講座案内配布		新入生：ガイダンス資料として自宅へ送付 在校生：新学期のガイダンスにて配布		
■ 説明会開催 レッスン内容、講座開講までのスケジュール説明 (募集要項配布)及びサンプルレッスン実施 □内は参加者数		4月11日(木)[56名] 4月15日(月)[49名] 4月19日(金)[3名] ※4/19は追加実施	4月15日(月)[91名] 4月17日(水)[82名] 4月22日(月)[19名] ※4/22は追加実施	4月12日(金)[61名] 4月17日(水)[59名] 4月22日(月)[8名] ※4/22は追加実施
■ 受講申込 講座HPにてオンライン申込(新規生はクラス分けテスト有り)及び希望スケジュール登録		4月11日(木)~4月23日(火) (最終日は23:59まで)		
■ 受講料		104,000円(教材費、消費税[5%]を含む)		
■ 受講料納付		4月11日(木)~4月26日(金)(最終日は15:00まで)		
■ 受講時間割公開		5月4日(土)(講座HPにて)		
■ 開講日程	前期	5月8日(水)~7月17日(水)		
	後期	9月24日(火)~12月10日(火)	9月25日(水)~12月11日(水)	
■ 受講者数 ()内は前年度からの継続者数		82名(16名)	116名(10名)	71名
		総計:269名(26名)		
■ TOEIC 受験者数 ()内は500点以上	前期 6/30(日)	7名(1名) 最高585点	29名(4名) 最高655点	10名(3名) 最高570点
	後期 11/24(日)	14名(3名) 最高660点	15名(2名) 最高700点	4名(0名) 最高460点
	合計	21名(4名)	44名(6名)	14名(3名)
■ 設置クラス		Basic:1 Pre-Intermediate:1	Basic:1 Pre-Intermediate:1	Introductory:1
■ 使用教材		Fifty Fifty Book 1(LONGMAN)[BasicClass] Four Corners 3(CAMBRIDGE Univ.PRESS)		Fifty Fifty Intro (LONGMAN)
■ 担当講師の国籍	前期	アメリカ、イギリス	アメリカ	イギリス
	後期	イギリス、カナダ	アメリカ、カナダ	アメリカ

2) クラス編成について

前期の場合、継続生は前年度の成績評価、新規生はクラス分けテストの結果に基づき、開講前にクラス編成を行うが、開講後に担当講師の評価や受講者の希望によって所属クラスを変更する場合もある。後期については、前期の成績に基づいてクラス編成を行う。前期と同様に後期開講後、担当講師の評価や受講者の希望によって所属クラスを変更する場合もある。

1クラスは原則8名(最大12名)とし、幅広い英語を学ぶため、各クラス(レベル)を担当する講師は前期と後期で交代する事としている。

【考察】

受講者の英語力レベル度数分布図を作成し、前期と後期を比較した場合、ピークは前期から後期にかけて右側へ推移しており、全体でレベルが向上している事が分かる。しかしながら、例年後期は出席率が低くなる傾向にあるため、その原因を究明の上、後期の出席率を前期並みに維持させる方法を考えねばならない。

実施要領等の表を見ても明らかのように、受講者数に対してTOEIC IPテストの受験者数は少なく、受験率が高くないことが分かる。これは他学科などでもTOEIC IPテストを実施しているためと考えられ、「課外英語力強化プログラム」における受験者数としては、妥当な数ではないかと考えられる。

2. 課外パソコン講習

近年、文書作成やプレゼンテーション、また、コミュニケーションツールとしてPCを利用することは日常化しており、企業は自社への就職を目指す学生に対し、在学中に最低限のPCスキルを習得しておく事を求めていると言われていている。しかしながら、PCを活用するための知識やスキルを体系的に学び、習得している学生の数はかなり限られているという事実も判明している。

このため、本講座は学生の情報処理に関する知識の習得とPCスキルの向上、また、在学中に認定資格を取得させる事を目的として実施されている。この講座の授業は、平日の夕方や土曜日、夏期・春期などの長期休暇中に学内で実施されるため、学生は正課授業に支障をきたすことなく受講する事ができる。

平成25年度は、ビジネス能力認定試験やP検（ICTプロフィシエンシー検定試験）対策講座に加え、千代田校では試験的にMOS試験対策講座を実施した。

1)実施要領等

	千代田校	多摩校	狭山台校	
■ 講座案内配布	新入生：ガイダンス資料として自宅へ送付 ガイダンス時、別資料の配布あり 在校生：新学期のガイダンスにて配布			
■ 説明会開催 講座内容、資格試験、講座申込みに関する説明の実施 []内は参加者数	4月12日(金)[74名] 4月15日(月)[53名] 4月17日(水)[71名] 6月19日(水)[25名] 6月21日(金)[31名] 7月3日(水)[19名] 7月5日(金)[8名]	4月19日(金)[34名] 4月23日(火)[39名] 4月24日(水)[28名]	4月11日(木)[8名] 4月15日(火)[29名] 4月19日(金)[25名]	
■ 無料体験講座 []内は参加者数	4月22日(月)[1名] 16:20~17:50(90分)	—	4月23日(火)[10名] 12:15~12:55(40分)	
■ 受講申込 空きがある場合に限り、 受付終了後サポートセンターにて随時受付	◆前期 4/19(金),22(月),24(水) ◆夏期 6/24(月)~26(水) ◆後期 7/8(月),10(水) ◆春期 12/11(水)~13(金)	◆前期 4/24(水)~26(金) ◆夏期・後期 7/11(木),12(金) ◆春期 12/10(火),11(水)	◆前期 4/24(水)~26(金) ◆夏期 7/17(水)~18(木)	
■ 受講料	22,000円~47,000円(検定料、教材費を含む) ※教材のみの購入、検定のみ申し込み可			
■ 受講料納付	銀行振込にて随時			
■ 開講日程	前期	5/7(火)~7/30(火)	5/20(月)~7/18(木)	5/18(土)~7/13(土)
	夏期	8/29(木)~9/12(木)	—	—
	後期	9/17(火)~2/22(日)	9/28(土)~12/13(金)	10/5(土)~12/14(土)
	春期	2/3(月)~3/17(月)	2/3(月)~2/14(金)	—
■ 受講者数 [延べ数] ()内は資格取得者数	262名	147名	30名	
	総計：439名(313名)			



2) 実施講座

千代田校	多摩校	狭山台校
◆ビジネス能力認定試験 Word 3級・2級 Excel 3級・2級 PowerPoint 初級 Word & Excel 3級・2級	◆ビジネス能力認定試験 Word & Excel 3級・2級	◆ビジネス能力認定試験 Excel 3級 Word & Excel 3級
◆P検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) P検 3級・準2級・2級	◆P検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) P検 3級・準2級・2級	◆P検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) P検 3級
◆MOS Word スペシャリスト・エキスパート Excel スペシャリスト・エキスパート	—	—

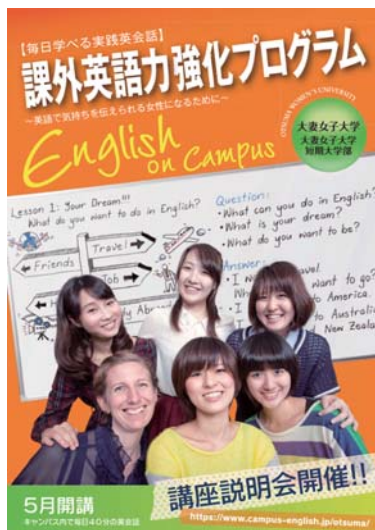
3) 資格取得状況

講座名	取得資格 【】内は資格試験主催団体	受講者数	合格者数
◆ビジネス能力認定試験 Word 3級 Word 2級 Excel 3級 Excel 2級 PowerPoint 初級 Word & Excel 3級 Word & Excel 2級	【ソフトウェア活用能力認定委員会】		
	① Word 文書処理技能認定試験 3級	6名	1名
	② Word 文書処理技能認定試験 2級	2名	2名
	③ Excel 表計算処理技能認定試験 3級	26名	21名
	④ Excel 表計算処理技能認定試験 2級	0名	0名
	PowerPoint プレゼンテーション 技能認定試験初級	4名	4名
	①及び③	103名	72名
	②及び④	57名	39名
◆P検 P検 3級 P検準 2級 P検 2級	【ICT プロフィシエンシー検定協会】		
	ICT プロフィシエンシー検定試験 3級	26名	25名
	ICT プロフィシエンシー検定試験準 2級	21名	16名
	ICT プロフィシエンシー検定試験 2級	0名	0名
◆MOS Word スペシャリスト Word エキスパート Excel スペシャリスト Excel エキスパート	【オデッセイ】		
	MOS Word スペシャリスト	54名	37名
	MOS Word エキスパート	16名	8名
	MOS Excel スペシャリスト	94名	66名
	MOS Excel エキスパート	30名	22名

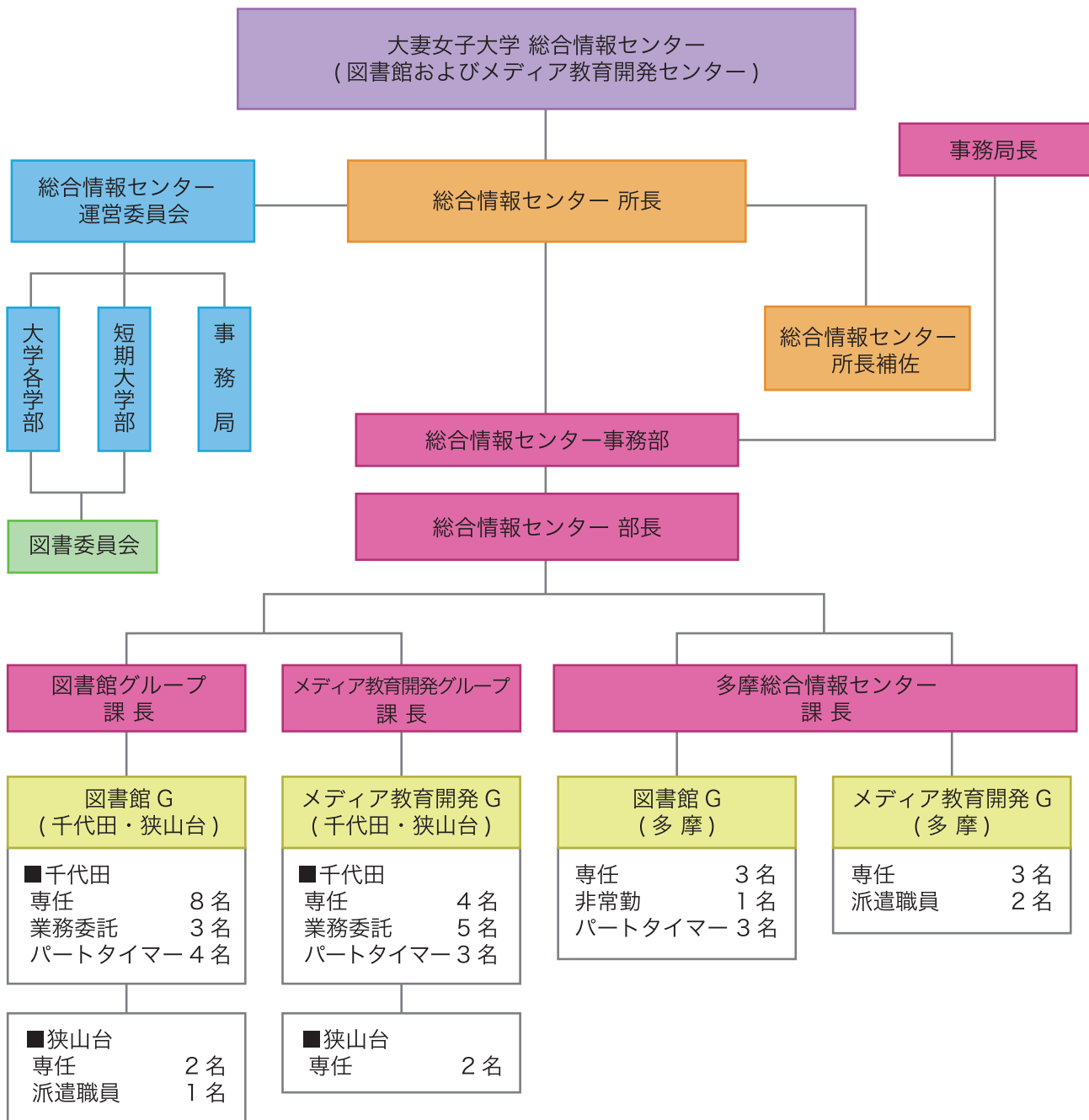
【考察】

講座自体の陳腐化を避けるため、平成25年度は千代田校にて試験的にMOS試験対策講座を開講したところ、多くの学生が受講したため、受講者の総数が増加した。これは、前年度までにすでに資格を取得していた学生が別の資格取得を目指して受講したことによるかもしれない。

千代田校にてMOS試験対策講座の受講者が相当数に至ったこともあり、平成26年度は全キャンパスでMOS試験対策講座を導入することとしたが、前述の理由により今後の受講者数の推移を見守る必要があると思われる。



2013 度 総合情報センター組織



大妻女子大学 総合情報センター 規程

平成20年5月29日制定

平成22年7月27日改訂

平成25年4月22日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学学則(昭和48年4月1日制定)第39条第3項及び大妻女子大学短期大学部学則(昭和49年4月1日制定)第39条第2の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部(以下「大学及び短期大学部」という。)共通の附属施設として、教育・研究に必要な図書、電子情報、その他各種資料(以下「図書資料」という。)を収集、所蔵し、教職員、学生等の利用に供するとともに、情報メディア環境を活用した教育・学習活動等への支援と、そのために必要な開発業務を行うことをもって、本学の教育・研究の充実発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 図書資料の収集、組織化、保管、利用者への提供、及び図書館間の相互利用に関する業務
 - (2) 大学及び短期大学部、並びに学校法人大妻学院(以下「学院」という。)が関与する著作権に関する業務
 - (3) 大学及び短期大学部教員に関する教育・研究用データベースの構築と教育・研究用外部資金確保に関する業務
 - (4) 情報メディア教育システムの企画・開発、維持・管理、安定的な運用及びセキュリティ維持に関する業務
 - (5) ネットワークなどの情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援とそれらに必要な開発業務
 - (6) 教職員に対する情報処理及び情報メディア教育関連の講習に関する業務
 - (7) 学生に対する情報処理及び情報メディア等の補完教育の計画、立案並びにこれらに関する業務
 - (8) 学院の要請による情報処理及び情報メディアに関する業務
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務
- 2 前項の業務を行うため、センターに図書館とメディア教育開発センターの2施設及び総合情報センター事務部(以下「事務部」という。)を置く。事務部に図書館グループとメディア教育開発グループを置く。

(組織)

第4条 センターに次の教職員を置く。

- (1) 所長1名
 - (2) 事務部部长1名
 - (3) 事務部課長若干名
 - (4) 事務部職員
- 2 所長は、本学専任教授の中から学長が任命する。任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 所長は、事務部を統轄し、センターの業務を掌理する。また、所長に事故のあるときは、所長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
- 4 センターに所長補佐を置くことができる。

(運営委員会)

第5条 センターの管理・運営の円滑化、効率化を図るため、センター運営委員会を置く。2センター運営委員会の規程は、別に定める。

(運営細則への委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、センターの管理・運営について必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て大学運営会議において定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月29日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館規則(昭和60年4月1日制定)及び大妻女子大学情報メディアセンター規程(平成13年5月25日制定)は、廃止する

附 則

この規程は、平成22年7月27日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程

平成20年6月13日制定

平成23年6月4日改訂

平成25年4月22日改訂

平成25年6月11日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学総合情報センター規程(平成20年5月29日制定)(以下「センター規程」という。)第5条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター運営委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関して必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 総合情報センター(以下「センター」という。)の運営の方針及び大綱に関する事項
- (2) センター規程及びセンター運営委員会規程等の改廃に関する事項
- (3) センターの運営に関する予算の大綱に関する事項
- (4) 図書資料収集と管理の基本方針に関する事項
- (5) 情報処理及び情報メディア教育に関する施設設備の整備に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター所長
 - (2) 家政学部長、文学部長、社会情報学部長、人間関係学部長、比較文化学部長及び短期大学部長
 - (3) 大学院研究科長
 - (4) 各学部及び短期大学部から選出された専任教員各2名
 - (5) 事務局長、教育支援センター部長、学生支援センター部長、多摩事務部長及び狭山台校事務長
 - (6) センター事務部部長、課長
 - (7) その他所長の委嘱する者若干名
- 2 前項第4号及び第7号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 学長及び副学長は、必要に応じて委員会に出席することができる。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

- 2 委員長は、センター所長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取する事ができる。
- 3 委員会には、センター規程第3条の内容を検討するため、部会を置くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、センター事務部において処理する。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定める。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、大学運営会議で定める。

附 則

- 1 この規程は平成20年6月13日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館運営委員会規程(昭和60年6月1日制定)及び大妻女子大学情報メディアセンター運営委員会規程(平成13年5月25日制定)は、廃止する。
- 3 平成20年度については、従前の図書館運営委員と情報メディアセンター運営委員を、本規程第3条第3号の委員とする。

附 則

この規程は平成23年6月4日から施行する。

附 則

- 1 この規程は平成25年4月1日から施行する。
 - 2 この規程は平成25年6月1日から施行する。
- 大妻女子大学図書委員会規程(昭和60年6月1日制定)は、廃止する。

総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ 沿革

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
1949年 S24年	初代館長 清水福市 (S24.4-S45.9)	4月 大妻女子大学の新制大学移行と同時に発足旧校舎 2階に設置閉架閲覧方式		大妻女子大学設置（家政学部被服学科・食物学科・家庭理学科・別科）
1957年 S32年		3月 書庫充満のため書架増設		
1967年 S42年		4月 狭山台校開学 狭山台校分館発足 校舎 3階	文学部英文学科内に音声言語教育のための機器、教材整備・充実のため「LL 研究室」設置	狭山台校開設 文学部国文学科・英文学科、 短期大学部国文科、英文科設置
1968年 S43年				大妻女子大学創立 60周年記念式典挙行 (日本武道館)
1970年 S45年	館長 加藤菊雄 (S45.9-S49.3)	9月 千代田校本館完成図書館も本館1～2階に移動 開架閲覧方式に移行、学生用複写機稼動	教育・研究への視覚的手法導入に対する熱意の高まりにより、全学的組織「視覚教育専門委員会」開催	千代田校舎図書館棟新築完成 図書館研究室本館新築
1971年 S46年	初代所長 天野一夫 (S46.4-S49.3)		「視覚教育センター」設立 設立に伴い「視覚教育専門委員会」を「視覚教育運営委員会」に改称。各学部で管理していた視覚機器を視覚教育センターで一元管理する。 AAC型LL（加減・オブジェ型アース）教室設置→LL 授業開始	
1972年 S47年			千代田校に「教材制作部」「サービス部」、狭山台校に「サービス部」を設置	千代田校記念会館竣工
1973年 S48年			授業にビデオ教材を使用するため貸出用機器の充実	data
1974年 S49年	館長 廣田榮太郎 (S49.4-S49.5) 館長 黒田巍 (S49.11-S50.3) 所長 渡辺修 (S49.4-S59.3)			
1975年 S50年	館長 吉田精一 (S50.4-S51.3)		16ミリ発声映写機操作講習会実施	
1976年 S51年	館長 黒田巍 (S51.4-S53.3)			
1978年 S53年	館長 小幡弥太郎 (S53.4-S56.3)	狭山台校分館 増築増床		大妻女子大学創立 70周年記念式典 挙行（日本武道館）
1981年 S56年	館長 吉田精一 (S56.4-S59.3)			大妻女子大学人間生活科学研究所設置
1982年 S57年			千代田校 AAC 型 LL 教室を加外型に改修	
1983年 S58年		5月 狭山台校分館 保存書庫竣工		狭山台校保存書庫棟竣工
1984年 S59年	館長 仙波千代 (S59.4-S63.3) 所長 仙波千代 (S59.4-S60.3)		狭山台校 AAC 型 LL 教室を加外型に改修	
1985年 S60年	所長 磯田浩 (S60.4-S61.3)		「情報処理・視覚教育センター」に名称変更	
1986年 S61年	所長 仙波千代 (S61.4-S63.3)			千代田校 A 棟、大妻体育館竣工
1987年 S62年				
1988年 S63年	館長 加藤憲一 (S63.4-H2.3) 所長 坂下潔 (S63.4-H5.3)	4月 多摩校開学 図書館棟 4階に多摩校分館 発足	多摩キャンパス開校に伴い 情報処理・視覚教育センター「サービス部」設置 多摩校でパソコン使用の授業が始まり情報処理関係 教室の管理実施。 LL 教室 1 教室、情報処理教室 1 教室、スタジオ等設置	多摩校開設 短期大学部 (生活科、日本文学科、実務英語科) 設置 千代田校 B 棟竣工
1989年 H 元年				大妻女子大学創立 80周年記念式典 挙行（日本武道館）
1990年 H2年	館長 隈部直光 (H2.4-H4.3)			千代田校旧校舎閉鎖 C 棟竣工
1991年 H3年			千代田校教養科目『情報処理概論』の授業開講のためサポート開始	
1992年 H4年	館長：伊藤博 (H4.4-H8.3)	9月学長の諮問により、図書館及び情報処理・視覚教育センター合同運営委員会を開催し、情報処理・視覚教育センターの改革案を審議する。 結果、情報処理・視覚教育センターサービス部門と社会情報学部計算機室を合併、「情報処理教育センター」とする。 千代田校の教材制作部は「教育工学開発室」とする。 図書館は現スタッフのレベルアップをはかりながら、視覚資料の整備、情報システムを活用した他大学との学術情報交流を推進する。 社会情報学部棟内に LAN 敷設		社会情報学部社会情報学科設置 千代田校 D 棟、大妻講堂竣工

総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ 沿革

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
1993年 H5年	所長 磯田浩 (H5.4-H6.3) 初代室長 伊平保夫 (H5.4-H12.3)		「情報処理教育センター」設立 2部門4部署 千代田校・狭山台校にサービス部門、多摩校に計算機部門・ サービス部門を設置 「教育工学開発室」設立（千代田校） ネットワーク名称を「KOTAKA-net」と命名多摩校 -TRAIN（東京地域がミカド）接続 千代田校A棟視聴覚教室を映像カメラにより接続	
1994年 H6年	所長 野崎昭弘 (H6.4-H8.3)	4月 図書館ネットワーク開始 8月 千代田校本館1階改修工事 10月 卒論・卒研のための図書館利用指導開始		
1995年 H7年		2月 千代田校本館2階改修工事 視聴覚コーナー設置 4月 図書館ツアー等の利用指導開始 7月～ 電算化CALISシステム事務用本稼働		
1996年 H8年	館長 野崎昭弘 (H8.4-H10.3) 所長 白川利昭 (H8.4-H12.3)	4月 CALIS閲覧システム稼働・BDS装置3館に設置 5月 狭山台校分館新図書館開館（旧研究棟を改修）	多摩校・千代田校ダイヤルアップ接続 KOTAKA-net 開始	狭山台校図書館棟竣工
1997年 H9年			情報処理教育センター主催による英検対策講座、 パソコン対策講座開催（千代田校）	
1998年 H10年	館長 江本裕 (H10.4-H14.3)			大妻女子大学創立90周年記念式典挙行 (東京国際フォーラム)
1999年 H11年			千代田校C棟情報処理実習室 "KOTAKA-net"へ接続	人間関係学部 (人間関係学科、人間福祉学科)、 比較文化学部(比較文化学科)設置 多摩校学生会館竣工 草稿・テキスト研究所設立
2000年 H12年	所長 村上弘幸 (H12.4-H15.3) 室長 村上弘幸 (H12.4-H13.3)	多摩校分館改修増床 3階～4階を図書館に		
2001年 H13年			「情報メディアセンター」設立 情報処理教育センターと教育工学開発室が合併改組する 千代田校に学習支援部門・教材制作部門、多摩校に計算 機部門・学習支援部門、狭山台校に学習支援部門を設置	
2002年 H14年	館長 栗原裕 (H14.4-H16.3)	千代田校大学校舎 - 新図書館棟 NTTスーパーLANで接続	補完教育「課外パソコン講習」「課外英語力 強化プログラム」をセンター所管のもと開始	家政学部ライフデザイン学科、文学 部コミュニケーション文化学科設置
2003年 H15年	所長 玉井浩 (H15.4-H19.3)	1月 千代田本館新図書館棟に移転 地下2階～地上4階を図書館に入退館システム導入 地下1階にディスプレイを設置 パソコン40台と視聴覚コーナー設置	千代田校に情報メディアセンター 計算機部門設置 各キャンパス各教室情報コンセントでKOTAK-net 接続開始	千代田校短期大学部家政科第二部廃止 家政学部、文学部2年生履修地狭山台校か ら千代田校に変更
2004年 H16年	館長 渡部満彦 (H16.4-H20.3)	4月 文系共同図書室 千代田校図書館4階に 仮設置		
2005年 H17年			統合認証システム稼働	事務組織にグループ制導入 大妻学院将来構想検討委員会発足
2006年 H18年				生活科学資料館設置
2007年 H19年	所長 伊藤朋恭 (H19.4-H20.3)			
2008年 H20年	所長 栗原裕 (H20.4～)	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。 [計算機部門]の一部と[教材制作部門][学習支援部門]は[メディア教育開発グループ]となる。 また計算機部門業務の一部はIT化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」となる。 「総合情報センター」設立 [千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ] [千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ] 「システム管理室」設立		大妻学院創立100周年
2009年 H21年		9月 CALISシステムから新システムE-CatsLibraryへ 移行		
2010年 H22年		ランキングシステム 利用開始	アカウント統合管理システムにADサーバ組み入れ	
2011年 H23年		ランキングシステム リニューアル 備品交換・持ち込みパソコン のインターネット接続環境整備		
2012年 H24年		千代田校 AV・情報メディアルームリニューアル		
2013年 H25年		5月 文系共同図書室 本館E棟8階に移転 千代田校 入退館システムリニューアル 12月 狭山台校2階グループ学習コーナー設置、 1階エントランス外変更	学習支援システム(LMS)「manaba」利用 開始	千代田校本館E棟及び別館J棟竣工

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

◆千代田校 【大学校舎】

棟	階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリ ーン	モニタ	特記事項	
A棟	1F	視聴覚教室	A150	315	操作卓		1	●	1	2	2	PDP(43")、映像ネットワーク	
			A155	168	操作卓		1	●	2	2		映像ネットワーク、遠隔授業システム	
			A157	132	操作卓		1	●	1	2		映像ネットワーク	
			A164	135	操作卓		1	●	1	2			
			A166	107	操作卓		1	●		1	4	PDP(42")、映像ネットワーク	
	2F	視聴覚教室	A250	80	ラック		1	●		1	2	LCD(37")、映像ネットワーク	
			A252	150	操作卓		1	●	1	2		映像ネットワーク	
			A254	150	ラック		1	●	1	2			
			A257	150	ラック		1	●	1	2			
			A264	135	操作卓		1	●		1	4	PDP(50")、映像ネットワーク	
B棟	情報処理教室	B232	68	操作卓	68	2	●	1	1			OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.)	
		モニター教室	B242	79	ワゴン					1	1		CRT(29")
			B246	78	ワゴン					1	1		
C棟	CALL 教室	C271	64	操作卓	64	2	●	1	1			OS:Windows7 PC@LL ST(Ver.7.5)	
		モニター教室	C281	32	ワゴン			●					
			C282	28	ワゴン			●				LCD(32")	
A棟	3F	簡易 AV 教室	A353	22	ワゴン		1	●	1	1			スクリーンはホワイトボード利用
			A355	22	ワゴン		1	●	1	1			
			A356	22	ワゴン		1	●	1	1			
			A357	42	ワゴン		1	●	1	1			
		視聴覚教室	A366	168	ラック		1	●	1	2			
C棟	視聴覚教室	C370	60	操作卓	60	2	●	1	1			OS:Windows7 PC@LL DT(Ver.7.5)	
		C373	60	操作卓	60	2	●	1	1				
		モニター教室	C381	20	ラック		1	●				1	
			C382	27	ラック		1	●				1	LCD(42")
C383	21		ラック		1	●				1			
A棟	4F	視聴覚教室	A450	72	ラック		1	●	1	2			
			A452	72	ワゴン		1	●	1	1			
		簡易 AV 教室	A453	108	ワゴン		1	●	1	1			
			A455	108	ラック		1	●	1	2			
			A457	108	ラック		1	●	1	2			
			A464	135	ラック		1	●	1	2			
	5F	視聴覚教室	A466	107	ラック		1	●	1	2			
			A550	72	ワゴン		1	●	1	1			
			A552	72	ワゴン		1	●	1	1			
			A553	108	ラック		1	●	1	2			
			A555	108	ラック		1	●	1	2			
	D棟	簡易 AV 教室	A557	108	ラック		1	●	1	2			
			A564	72	ラック		1	●	1	2			
A565			72	ワゴン		1	●	1	1				
		A567	71	ワゴン		1	●	1	1				
A棟	6F	簡易 AV 教室	D517	—	—								
			D518	36	操作卓		1	●	1	1	2		スクリーンはホワイトボード利用
		視聴覚教室	A650	72	ラック		1	●	1	2			
			A652	72	ワゴン		1	●	1	1			
		視聴覚教室	A653	108	ラック		1	●	1	2			
			A655	108	ラック		1	●	1	2			
			A657	108	ラック		1	●	1	2			
			A664	72	ラック		1	●	1	2			
		簡易 AV 教室	A665	72	ワゴン		1	●	1	1			
			A667	71	ワゴン		1	●	1	1			
B1	アトリウム			ラック								音響システム	

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【本館E棟】

階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリー ン	モニタ	特記事項
B1	視聴覚教室	E055	340	操作卓		1	●	3	3	1	LCD(55")、映像ネットワーク
	情報処理自習室	E062	80	—	80						OS:Windows7
2F	モニター教室	E263	24	ラック		1	●			1	LCD(42")
3F	PC コーナー	E330	12	—	12						OS:Windows7
	情報処理自習室	E352	60	操作卓	60	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.)
		E354	60	操作卓	60	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.)
	CALL 教室	E356	40	操作卓	40	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL DT(Ver.)
		E358	36	操作卓	36	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL ST(Ver.)
	モニター教室	E362	24	ラック		1	●			1	LCD(42")
E363	24	ラック		1	●				1		
4F	視聴覚教室	E452	90	ラック		1	●	1	1		映像ネットワーク
		E454	110	ラック		1	●	1	1		
		E456	110	ラック		1	●	1	1		
	教職実践演習室	E457	66	ラック	6	1	●	5	1	1	LCD(42")、サイドスクリーンはホワイトボード利用
5F	PC コーナー	E530	12	—	12						OS:Windows7
モニター教室	E552	24	ラック			1	●			1	LCD(42")
	E562	24	ラック			1	●			1	

【図書館】

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	B1	PC コーナー	50 席	プリンター 4 台
		AV ブース	19 席	ビデオ ,DVD,CD
	1F	事務室, メインカウンター, 検索コーナー (3 席), 新着本コーナー, 展示ケース, 他		
	2F	閲覧席	124 席	
		開架書架, レファレンスカウンター, 大型本, 参考図書, 検索・コピー各コーナー, 他		
	3F	閲覧席	140 席	
		個人用ブース	3 席	
		開架書架, レファレンスカウンター, 絵本, 検索・コピー各コーナー, 他		
	4F	閲覧席	87 席	
		ラーニング コモンズ	34 席	
開架書庫, 新着雑誌, 寄贈雑誌, 新聞, 検索・コピー各コーナー, 他				

◆狭山台校

【1号館・2号館】

棟	階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリー ン	モニタ	特記事項
2	1F	視聴覚教室	154	336	操作卓			●	1	2		
1号館	モニター教室	202	40	ワゴン				●			1	CRT(29")
		203	40	ラック				●			1	PDP(42")
		204	49	ワゴン							1	CRT(29")
	視聴覚教室	205	164	ラック				●	1	2		
		206	164	ラック				●	1	2		
		207	81	ラック				●			2	PDP(42")
		208	210	ラック				●	1	1		
209	140	ラック				●	1	2				
2号館	モニター教室	251	79	ワゴン							2	CRT(25")
		252	129	ラック				●			2	PDP(42")
		253	78	ラック				●			2	PDP(42")
1号館	モニター教室	302	56	ワゴン							1	CRT(29")
		303	56	ラック				●			1	PDP(42")
		304	40	ワゴン							1	CRT(29")
2号館	4F	モニター教室	452	129	ワゴン						2	CRT(29")
		情報処理教室	451	76	操作卓	76	2	●	1			OS:WindowsXP Comschool(Ver.6.0)
		CALL 教室	456	64	操作卓	64	2	●	1	1		OS:WindowsXP PC@LL ST(Ver5.5)

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【図書館】

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	1F	閲覧席	77 席	ビデオ,LD,DVD,CD 事務室,PC,開架書架,新着雑誌コーナー,検索・コピー各コーナー,他
		AV コーナー	25 席	
	2F	閲覧席	82 席	開架書架,グループ学習コーナー,PC,検索コーナー,他
		キャレル	22 席	
	3F	キャレル	6 席	閉架書庫,他

◆多摩校

【比較棟・社情棟・人間棟・図書館棟・学生会館】

階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリ ーン	モニタ	特記事項		
比較文化学部棟	1F	視聴覚教室	3100	120	操作卓		1	●	1	2			
			3122	240	操作卓		1	●	1	2	2	PDP(43")	
			3127	132	ラック		1	●	1	2			
			3130	131	ラック		1	●	1	2			
	2F	視聴覚教室	3200	72	ラック		1	●	1	1			
			モニター教室	3203	28	ラック					1	CRT(29")	
		視聴覚教室	3206	57	ラック		1	●	1	1			
			3208	69	ラック		1	●	1	1			
			3220	69	ラック		1	●	1	1			
			3223	57	ラック		1	●	1	1			
	情報処理・LL 教室	3225	60	操作卓	60	1	●	1	1			OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)	
		3230	50	操作卓	50	1	●	1	1				
	3F	視聴覚教室	3300	84	ラック		1	●	1	1			
			モニター教室	3303	28	ラック			●			1	PDP(42")
		視聴覚教室	3306	57	ラック						1	CRT(29")	
			3308	57	ラック		1	●	1	1			
		モニター教室	3320	69	ラック		1	●	1	1			
			3323	57	ラック						1	CRT(29")	
3325			30	ラック			●			1	PDP(42")		
3329			39	ラック		1	●	1	1				
モニター教室	3331	39	ラック					1	1	CRT(29")			
図	2F	情報処理自習室	4264	60	操作卓	60	1				OS:Windows7		
		基礎化学実験室	6117	28	ラック	15		●	1			OS:Windows7	
社会情報学部棟	1F	視聴覚教室	6113	325	操作卓		1	●	1	2	2	PDP(43")	
			6153	175	操作卓		1	●	1	2			
			6155	48	操作卓		1	●	1	1			
			6156	80	操作卓		1	●	1	1			
	2F	情報処理実習室	6215	72	操作卓	72	1	●	1	1		PC@LL 授業支援 (Ver.8.0) OS:Windows7/Linux	
			6218	72	操作卓	72	1	●	1	1			
			6254	64	操作卓	64	1	●	1	1			
			6256	64	操作卓	64	1	●	1	1			
		視聴覚教室	6212	80	操作卓		1	●	1	1			
			6213	125	ラック		1	●	1	2			
			6220	125	ラック		1	●	1	1			
			6250	125	ラック		1	●	1	2			
	3F	PC 兼用講義室	6252	80	操作卓		1	●	1	1			
			6253	80	操作卓		1	●	1	1			
			6312	42	操作卓	42	1	●	2	3		PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)OS:Windows7/Linux	
			LL 教室	6313	45	ラック	40	1	●	1	1		OS:Windows7/Linux
		情報処理・LL 教室	6315	36	ラック	42	1	●	1	1			PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)OS:Windows7/Linux
			視聴覚教室	6320	175	操作卓		1	●	1	2		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリ ーン	モニタ	特記事項	
人間関係学部棟	1F	視聴覚教室	7114	151	操作卓		1	●	2	3		遠隔授業システム
			7127	300	操作卓		1	●	1	2		7114 教室連携授業システム(千代田校連携可)
	2F	視聴覚教室	7214	151	操作卓		1	●	1	2		
			7217	67	操作卓	67	1	●	1	1		OS:Windows7 CaLaboEX(Ver.6.0)
		情報処理・LL 教室	7237	69	操作卓	69	1	●	1	1		
			7247	110	ラック		1	●	1	2		
		モニター教室	7260	33	ラック						1	CRT(29")
		視聴覚教室	7262	52	ラック			●	1	2		
			7282	33	ラック						1	CRT(29")
		モニター教室	7283	33	ラック						1	PDP(42")
			7284	52	ラック			●	1	2		
		視聴覚教室	7286	52	ラック		1	●	1	1		
	視聴覚教室		7313	52	ラック		1	●	1	1		
		7315	52	ラック		1	●	1	1			
		7318	110	ラック		1	●	1	1			
		7338	110	ラック		1	●	1	1			
		7348	110	ラック		1	●	1	1			
	3F	モニター教室	7362	36	ラック						1	CRT(29")
			7368	36	ラック						1	
			7381	36	ラック						1	
			7382	36	ラック						1	
			7383	36	ラック						1	
			7384	36	ラック			●			1	
			7385	36	ラック			●			1	
			7386	36	ラック			●			1	
		7387	36	ラック						1	CRT(29")	
		7388	36	ラック						1		
学	3F	視聴覚教室	2322	801	操作卓		1	●	1	1		

【図書館】

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	3F	閲覧席	114 席	
		メディアルーム	30 席	PC12 台, プリンター 2 台, ビデオ, DVD, CD
	事務室, メインカウンター, 新着雑誌, 新聞, 閉架書庫, 検索・コピー各コーナー, 他			
	4F	閲覧席	148 席	
		学習室	54 席	
		キャレル	6 席	
開架書架, 大型本, 参考図書, 検索コーナー, 閉架書庫, 他				



大妻女子大学 総合情報センター年報
第6号 (2013年度)

2014年7月1日発行

編集・発行 大妻女子大学 総合情報センター

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
TEL 03-5275-6013 (図書館)
TEL 03-5275-6085 (メディア教育開発センター)